

綾部市に雪害対策を申し入れ

1月30日現在、ビニールハウス80棟の倒壊被害
今後も被害は増える見通し

1月の大雪はかつてない積雪量で、市民生活にも多大な影響をきたしました。とりわけ農業関連施設への被害が大きく、1月30日、市長に対して別紙申し入れを行いました。

農林課課長との懇談で、「ビニールハウスの倒壊は、毎日のように報告が上がっており、30日現在80棟、茶棚は3か所⁵haの被害」。平成22年にも同様の大



申し入れを行う議員団

きな被害があったが、当時、府・市の支援策は京野菜の栽培に限定した内容だった。今回の被害規模から、幅広い支援ができるように府とも協議をしていきたい」との発言もありました。

被害報告は今後とも上がってくる予想されますが、支援策や補正予算対応などを緊急に行うことを強く要望しました。

雪害対策に関する緊急申し入れ内容

1. 豪雪被害の迅速な実態把握に努められたい。
2. 農業関連施設の被害が多く見受けられるが、法人・個人問わずリアルな実態を把握すること。
3. 実態把握とあわせ、ビニールハウス倒壊の撤去費用や再建支援策など、緊急に検討し補正予算に組み入れること。とくに、春の準備との関係で緊急な対応を行うこと。
4. 市・府とも連携し緊急な財政措置を検討されたい。
5. 人工林の杉や檜などの倒木状況を掌握し、伐倒とその持ち出し費用の支援策を検討すること。
6. 個人住宅での被害状況も掌握し対応策を検討すること。



倒壊したビニールハウス (大島町)